

情報元：南海日日新聞社
日付：令和2年9月10日

雨に負けず熱気あふれる

群島内2高校で体育祭

奄美群島の2高校で9日、台風10号の影響で延期していた体育祭（体育大会）があった。新型コロナウイルス感染症防止のため、プログラムの縮小や来場者の限定など制限のある中での開催。この日もあいにくの雨となったが、各校のグラウンドや体育館は全力で競技を楽しむ生徒の笑顔と熱気に包まれた。



学年対抗で熱戦展開

沖永良部高校

県立沖永良部高校（室屋洋一校長、生徒254人）の第68回体育祭は同校グラウンドと体育館であり、学年対抗で熱戦を繰り広げた。

生徒会長の島愛貴さんは開会式で「体育祭ができることに感謝し、全力で競い、楽しみ、応援して最高の体育祭にしましょう」とあいさつ。雨の影響でグラウンド競技は学級対抗リレーや百足リレーなど6種目のみとなったが、体育館でエイサーや応援合戦があり、生徒たちは気迫あふれる演舞を披露した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、プログラムを縮小して実施。来場者の検温など感染症予防策も徹底した。

（沖永良部総局）

熱戦を展開した百足リレー9日、
沖永良部高校グラウンド